

佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会定例会 議事録

日時：2019年5月21日（火） 10:00～12:00

場所：ほほえみ館（佐賀市保健福祉会館）趣味の講座室4F

参加：

【放デイ事業所】奏、じゃんぷ、きらめき、ビッグファミリー、さくらんぼ、にじのわーく、たいよう、ぱすてる、はっぴい、はな、ひまわり、プーさん、みらい、えいぶる本庄、ピクニック、佐賀整肢学園こども発達医療センター、あすなろクラブ本庄、まんまる、クレア、Can モア牛津、いーはとーぶ、にじのわ、からふる、光、チャイルドハート小城、チャイルドハートうしづ、からふる小城

【相談支援】さくら、ぷらっと

【公官庁】佐賀県、佐賀市、多久市

【学校】大和特別、金立特別

議題：

① 年間スケジュールの確認（定例会場所、研修内容の確認）

・7月からの定例会エコプラザに変更します。駐車場広く、会場費も無料。（冒頭5分でエコの話聞く必要あり。）

・今年度は4回公官庁/学校関係に来ていただく。

・6月の研修内容の紹介（整肢学園こども発達医療センター3F）

② 会則の変更について（昨年度末からあがっていた内容と会費の変更）

・昨年末よりあがっていた変更について特別意見はあがらず。

・今回大きく話あった部分は2点。

1 「会費額の変更」年間6000円→年間1000円に。

2 「相談支援事業所の参加について会費は取るのか？」

（現在の会則では徴収するとなっている。）

2点目については、その場で拍手によって『会費は徴収しない』となった。情報提供や顔の見える繋がり、関係性の構築は放デイ連絡会にとってプラスである。

1点目の「会費額の変更」は、班に分かれて話し合ってもらった。どの班も毎年柔軟に金額の変更があってもいいのではないかとあったが、連絡会として年数の若い団体でもあるので一定の余剰金があってもいいのではという意見があった。また、県外からの講師などを想定した時にそれなりの費用がかかるという意見もあった。最終的に、会議内では、1000円という金額では少なすぎるし、6000円という金額は高すぎではないとまとめ、役員で決めさせていただくことで了承を得る。

その後、役員内で話し合い会費額はこれまで通りで年間6000円に変更しないと決定した。

③ 各担当より

- ・会費納入方法について

振込によって納入をお願いします。申し訳ありませんが、手数料はご負担いただきますようお願い致します。(振込先は後日メールします。)

- ・6月研修について「てんかん発作時の対応」実施。参加希望の方は、いーはとーぶへFAXをお願いします。

- ・ホームページについて

今年度ホームページを作成します。

【目的】会員事業所の紹介・会員事業所HPへのリンク・住所/電話一覧・希望があれば評価表のWEB上への掲載

内容等は各事業所掲載の有無を含めて、検討して頂くアンケートをメールします。

④ その他

⑤ 公官庁、学校関係との顔合わせ

- ・児発管要件の変更について（佐賀県より）

- 直接支援 10年→8年
- 現在持っている人は取得した年度で更新研修を受ける。
- 実践研修/更新研修の内容・時間はまだ決定していない。
- 実務経験+基礎研修+OJT+実践研修

- ・各種案内と学校行事の確認

- 金立特別支援学校

年間スケジュール

7月29日～8月31日夏季休暇

10月1日～10月7日秋季休暇

10月8日後期始業式

- 大和特別支援学校

年間スケジュール

7月19日終業式（13:30一斉下校）

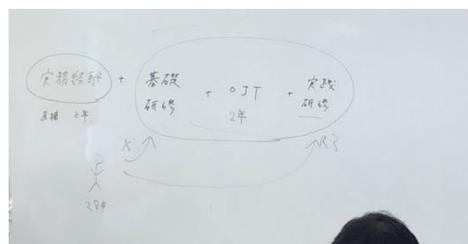
7月22日夏季休業

- 佐賀市

空き状況を知りたい

- 佐賀県

9月9日集団指導の予定（処遇改善について）



・質疑応答

【質問1】

教育委員会に定例会に参加して欲しい。

支援級に通っている子が多数。地域の学校は校長判断によって放デイへの理解に差がある。事業所単位では取り合ってくれない学校もある。送迎時に問題が発生しがち。

○以前決まったルールの確認（佐賀市・小城市）

市が窓口になる→教育委員会→各校長へ

（省庁を超えての連携の必要性は感じている。放デイ連絡会として動いてもらと検討に向けて1歩踏み出されるのかなと。）（佐賀県）

【質問2】

不登校児の学校のある日①休校日②は？送迎加算を取っていいのか？

○学校のあっている日は①（不登校児の利用は市町村判断）

○OK。学校を休んでも家迎えで請求できる。（佐賀県）

【質問3】

自立支援協議会こども部会を立ち上げて欲しい。

みなさま定例会への参加ありがとうございました。

次回も宜しくお願い致します。

次回：6月18日（火） 研修会

佐賀整肢学園こども発達医療センター 3F